

## 学校支援を積極的に進める

### P T A と地域ボランティアによる持続可能な学校支援

清須市立古城小学校 P T A

#### 1 はじめに

清須市は、愛知県西部に位置し庄内川、新川などの河川が流れる豊かな水辺環境に恵まれた市である。

本校は清須市の東部、西枇杷島地区に位置している。昭和50年4月に創立し、今年で46周年を迎える。創立当時は周辺に田畑が多くあったが、名古屋市のベッドタウン化が進み、住宅やマンションに変わってきている。平成12年の東海豪雨では新川の堤防が切れ、校区のほぼ全域が床上浸水する大きな被害を受けた。しかし、地域で力を合わせて復興のために努力をしてきた。現在の児童数は432名、学級数は17学級である。



【運動場から見た校舎】

校訓「明るく、正しく、たくましく」を基に生きる力の基礎を培い、知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指しており、「ひろげようつなげよう えがおのわ」をスローガンに、家庭や地域と連携を取りながら教育活動を進めている。

#### 2 研究への取組

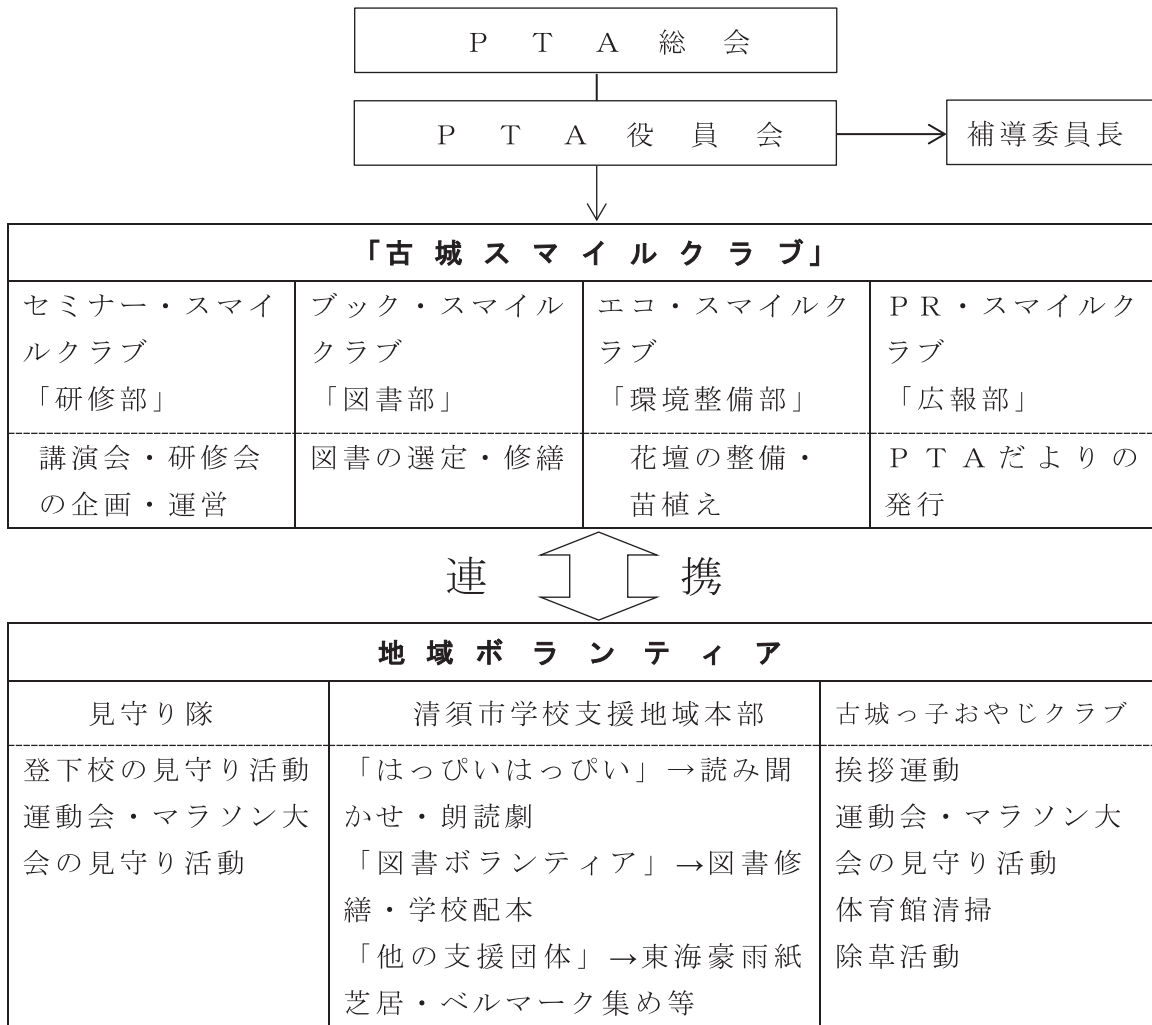
##### (1) 研究のねらい

本校は、家庭・地域に大切に見守られ、支えられながら教育活動を進めてきた。P T A 活動では、「古城スマイルクラブ」として、各学年4名の学年委員が「セミナー」「ブック」「エコ」「P R」の四つに分かれて活動している。また、登下校の「見守り隊」や清須市学校支援地域本部所属の「はっぴいはっぴい」等の地域ボランティアにより、児童の安全や健やかな成長を支援する活動が行われている。

古城小学校 P T A の活動は、「児童が笑顔で健全に成長してほしい」という願いを込めており、①児童の健康・安全を守ること ②児童の豊かな心を育むことに特に力を入れている。

共働き世帯の増加や高齢化など、ライフスタイルの変化により、P T A や地域ボランティアが抱える問題点はたくさんある。今後効果的な活動を進めていくためには、学校と「古城スマイルクラブ」、地域ボランティアが互いに連携・協働して、持続可能な学校支援を進めていくことが重要であると考えている。

(2) P T A の組織図と地域ボランティア



3 実践活動の概要

(1) 健康・安全に対する意識を高めるための学校支援

① 登下校における P T A と見守り隊の活動

本校では、10地区の P T A の補導委員長が登下校の見守り活動や通学路の安全点検、転出入児童への対応など、地域と学校をつないでいる。学区は、踏切や国道、交通量が多い道路などの危険箇所が多く、補導委員長が中心となって通学路や



【登校時の見守り活動】

集合場所における危険箇所を調査し、交通安全指導に生かしている。補導委員長は働いている母親であることが多いため、危険箇所点検を各々のライフスタイルに合わせた時間に行い、無

理のない取組になるよう工夫した。

また、本校では、登下校時に下小田井防犯パトロール隊を中心とした地域ボランティアの見守り隊が、踏切や交通規制がある場所などに立ち、児童の安全・安心の確保に努めている。近年は、見守り隊の高齢化が進み、後継者不足が問題となっている。そのため本年度より、補導委員長による危険箇所点検を生かし、「古城安全マップ」を作成し、保護者や地域の方の関心を高め、持続可能な登下校の安全確保につなげたいと考えている。

## ② 古城っ子おやじクラブ挨拶運動

古城っ子おやじクラブは、男性のPTA会員により、令和元年度に結成された組織である。

毎月第4水曜日には、通学団に付き添いながら、挨拶を交わし、児童の登校の安全を見守る活動を行っている。地元の実業団チームの選手やマスコットキャラクターと連携して挨拶運動



【挨拶運動】

を展開するなど、児童が楽しく安全に登校できるような工夫をしている。古城っ子おやじクラブや実業団のキャラクターに見守られ、児童は笑顔で元気のよい挨拶をしながら登校することができた。

活動に際して、広く男性のPTA会員におやじクラブへの入会を呼びかけているが、ライスタイルの面から参加者が固定されがちである。今後、多くの会員が気軽に参加できる活動として定着させられるよう、呼びかけを継続していきたい。

## (2) 豊かな心をはぐくむための学校支援

### ① 古城スマイルクラブ活動

古城スマイルクラブでは、PTAの学年委員が四つのクラブに分かれて活動を進めている。セミナー・スマイルクラブでは研修会の企画・運営を、ブック・スマイルクラブでは、児童が図書室の本を長く楽しむことができ



【花壇の苗植え】

るよう本の修繕を行ったり、図書の選定を行ったりしている。また、エコ・スマイルクラブでは、花の苗植え等緑化に関する

活動を、P R・スマイルクラブでは、学校の様子を家庭や地域に広く発信するために「P T Aだより」の作成を進めている。

毎年P T A役員が代わってもP T Aの活動を継続できるようにしていくことが大切である。そのために、活動の運営方法を明確化したり、地域ボランティアの協力を得たりしながら、持続可能な体制づくりを目指している。

#### ② 清須市学校支援地域本部による学校配本

清須市学校支援地域本部では、市の図書館と連携して、読書活動の推進に力を入れている。学校の要望を調査し、準備、貸し出しを行っている。図書を運搬する作業を配達業者に外部委託し、学校の負担軽減を図



【学校配本の整備活動】

った。また、ボランティアの手で番号シールを貼って学校の図書との区別がつくよう工夫をした。

学校配本で貸し出されたこれらの本は、「さくら文庫」と名付けられ、児童は大変喜んで手に取り、読書への意欲を高める学校支援につながった。清須市学校支援地域本部による学校配本は市図書館から学校までの図書の運搬を配達業者に委託することで業務の負担を軽減している。このように外部委託を有効活用することは、今後他の業務でも検討するべきであると考え

## 4 おわりに

P T Aと地域ボランティアによる持続可能な学校支援のためには、特定の団体に負担がかからないようにしていくことが重要である。本校の登下校における見守り隊とP T Aの活動に見られるように、従来の支援を維持することが難しい場合、別の形で支援を模索し協力し合う柔軟な体制づくりが有効である。高齢化・核家族化等、各々の実情を踏まえた上で、無理のない範囲で学校支援への参加を広く呼びかけること、学校の教育活動への理解を深めることが大切である。毎年P T A役員が代わっても活動を引き継げるよう、今後P T Aの経験者が地域ボランティアとしても協力できる体制づくりを推進していきたい。

社会が多様化し、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中で、学校、家庭、地域の連携・協力のもとで教育活動を進めていくことが一層求められている。P T Aにおいても長年さまざまな問題点を抱えており、単独で十分な学校の支援をすることが難しくなっている今こそ、地域ボランティアとの連携・協力を模索し、持続可能な学校支援を目指していきたい。